



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小糸製作所
コード番号 7276 URL <http://www.koito.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大嶽 昌宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山本 英男

TEL 03-3443-7111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	339,970	13.8	24,977	40.7	25,622	49.8	12,279	62.5
24年3月期第3四半期	298,714	△6.7	17,751	△37.3	17,103	△33.0	7,555	16.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 21,417百万円 (656.0%) 24年3月期第3四半期 2,832百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	76.41	—
24年3月期第3四半期	47.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	377,454	198,898	46.4	1,091.03
24年3月期	363,273	182,916	44.1	997.38

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 175,326百万円 24年3月期 160,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	465,000	7.9	35,000	10.3	35,500	12.7	17,000	26.9	105.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	160,789,436 株	24年3月期	160,789,436 株
25年3月期3Q	91,324 株	24年3月期	90,680 株
25年3月期3Q	160,698,168 株	24年3月期3Q	160,700,280 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 平成25年3月期の期末配当予想額は未定であります。配当予想額は、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

(参考) 平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	228,000	4.4	16,500	5.2	23,500	0.3	13,500	95.5	84 01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、震災の復興需要等がありましたものの、円高継続による輸出産業の停滞、日中関係の悪化等々から外需が伸び悩み、経済成長は低迷いたしました。世界においては、米国では景気回復の兆しもありますが、欧州の金融不安の継続、中国の成長減速、中東情勢不安等々により、総じて世界の経済成長は鈍化いたしました。

自動車産業におきましては、国内自動車生産は、震災復興需要及びエコカー補助金等により、前年同期に比べ大幅に増加いたしました。海外では、欧州で需要減退により減産となるなか、北米や、タイ、インドネシア等新興国での生産拡大により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明器事業が大幅増収となり、前年同期比13.8%増の3,399億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

〔日 本〕

自動車生産が、震災の復興需要及びエコカー補助金等により大幅増産となったことから、売上高は前年同期比8.7%増の1,894億円となりました。

〔北 米〕

自動車需要の回復に伴う生産増加や、現地自動車メーカー向けの受注拡大等により、売上高は前年同期比59.4%増の441億円となりました。

〔中 国〕

経済成長鈍化により自動車需要が伸び悩むなか、更に日中関係の悪化により日本車の生産が減少したものの、現地自動車メーカー向けの受注活動強化や拡販に努めた結果、売上高は前年同期比7.2%増の682億円となりました。

〔アジア〕

タイにおける自動車生産が大幅に増加するとともに、インドネシアでの生産も順調に推移し、売上高は前年同期比31.7%増の298億円となりました。

〔欧 州〕

欧州経済の低迷、域内自動車販売の不振、及び円高に伴う為替換算影響等により、売上高は前年同期比20.7%減の83億円となりました。

利益につきましては、国内外における増産に伴い大幅増収となり、海外新工場の稼働も寄与、更に原価低減諸施策を強力に推進したことから、営業利益は前年同期比40.7%増の249億円、経常利益は前年同期比49.8%増の256億円となりました。四半期純利益は投資有価証券評価損等の特別損失を計上したものの、前年同期比62.5%増の122億円となり、各利益ともに前年同期に対し大幅な増益となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

－ 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の残高は、現金及び預金の増等による流動資産の増、有形固定資産の増、投資有価証券の増等により、前期末に比べ141億円増加の3,774億円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金の減、借入金の減等により、前期末に比べ18億円減少の1,785億円となりました。

純資産の残高は、四半期純利益による利益剰余金の増、その他の包括利益累計額の増等により、前期末に比べ159億円増加の1,988億円となりました。

－ 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益223億円、減価償却費131億円を主体に452億円となり、法人税等を支払った結果、354億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預け入れ129億円、設備投資195億円等を実施した結果、309億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済8億円、配当金の支払い53億円を実施した結果、61億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ12億円減少の219億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

経済情勢は、国内では年末の政権交代以降、円安に推移し株価も回復傾向にありますが、日中関係の冷え込み継続、電力供給問題や雇用情勢不安等に加え、海外では欧州債務問題や米国景気の減速懸念、中国経済の成長鈍化、中東情勢不安等々もあり、経営環境は依然として厳しく不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、受注活動の強化、生産性向上、相互供給・相互補完に加え、環境変化に即応できる事業体制の構築、及び原価低減諸施策の強力な展開を図り、今後とも業績向上に取り組んで参る所存であります。

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、今後、国内エコカー補助金の反動減、中国での日本車減産等が懸念されますが、期前半において大幅な増収となったことから、前期比増収の予想であります。

利益につきましては、米国・タイ・インドネシア等の海外新工場の稼動が寄与するなか、生産性向上、経費削減等の費用削減効果もあり、各利益ともに前期比増益の見通しであります。

株主配当金につきましては、第2四半期末は、前期末と同額の1株当たり10円といたしました。
当期末配当金につきましては、経営環境の先行きが依然不透明であることから、現時点、未定としております。業績動向を踏まえ、改めて公表させていただく予定です。

今後とも株主皆様のご期待にお応えすべく、更なる収益向上に努めて参りたく存じます。

なお、平成24年10月26日の第2四半期決算短信にて公表いたしました平成25年3月期通期の業績予想値（連結・個別）を以下の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

平成25年3月期 通期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 455,000	百万円 33,000	百万円 32,500	百万円 14,500	円 銭 90.23
今回予想(B)	465,000	35,000	35,500	17,000	105.79
増減額(B-A)	10,000	2,000	3,000	2,500	—
増減率(%)	2.2	6.1	9.2	17.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	430,929	31,725	31,496	13,391	83.33

(参考) 平成25年3月期 通期 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 226,000	百万円 15,500	百万円 22,000	百万円 11,500	円 銭 71.56
今回予想(B)	228,000	16,500	23,500	13,500	84.01
増減額(B-A)	2,000	1,000	1,500	2,000	—
増減率(%)	0.9	6.5	6.8	17.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	218,295	15,682	23,429	6,906	42.97

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,620	71,163
受取手形及び売掛金	93,916	76,476
有価証券	891	1,050
たな卸資産	37,817	38,968
繰延税金資産	3,029	3,332
未収入金	14,468	14,762
その他	6,056	16,935
貸倒引当金	△12,804	△13,007
流動資産合計	202,995	209,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,917	31,135
機械装置及び運搬具（純額）	26,091	28,188
工具、器具及び備品（純額）	10,783	8,864
土地	13,497	13,635
建設仮勘定	4,778	9,779
有形固定資産合計	85,068	91,603
無形固定資産	1,186	1,009
投資その他の資産		
投資有価証券	61,722	63,230
長期貸付金	99	61
繰延税金資産	10,400	9,969
その他	1,973	2,067
貸倒引当金	△174	△171
投資その他の資産合計	74,022	75,157
固定資産合計	160,278	167,770
資産合計	363,273	377,454

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,443	75,590
短期借入金	22,854	21,745
未払費用	17,207	18,610
未払法人税等	5,175	5,085
賞与引当金	4,453	4,055
役員賞与引当金	317	—
製品保証引当金	1,700	1,700
その他	7,289	8,595
流動負債合計	137,441	135,382
固定負債		
長期借入金	2,883	3,317
退職給付引当金	29,313	29,372
役員退職慰労引当金	1,339	285
損害賠償引当金	8,564	7,960
環境対策引当金	248	250
その他	564	1,987
固定負債合計	42,915	43,173
負債合計	180,356	178,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,108	17,108
利益剰余金	127,638	136,703
自己株式	△76	△77
株主資本合計	158,940	168,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,014	7,295
為替換算調整勘定	△2,676	25
その他の包括利益累計額合計	1,338	7,321
少数株主持分	22,638	23,571
純資産合計	182,916	198,898
負債純資産合計	363,273	377,454

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	298,714	339,970
売上原価	255,476	288,069
売上総利益	43,238	51,900
販売費及び一般管理費	25,486	26,923
営業利益	17,751	24,977
営業外収益		
受取利息及び配当金	869	874
持分法による投資利益	1	2
為替差益	—	247
その他	1,286	1,190
営業外収益合計	2,157	2,313
営業外費用		
支払利息	516	423
為替差損	651	—
航空事業安全対策費	1,018	321
その他	619	923
営業外費用合計	2,804	1,668
経常利益	17,103	25,622
特別利益		
投資有価証券売却益	—	757
固定資産売却益	10	6
その他	—	1
特別利益合計	10	765
特別損失		
投資有価証券評価損	1,055	3,031
特別退職金	—	781
固定資産除売却損	62	205
たな卸資産評価損	690	18
たな卸資産廃棄損	384	7
環境対策引当金繰入額	13	—
その他	0	—
特別損失合計	2,206	4,044
税金等調整前四半期純利益	14,908	22,343
法人税、住民税及び事業税	4,653	9,501
法人税等調整額	1,550	△1,465
法人税等合計	6,204	8,036
少数株主損益調整前四半期純利益	8,704	14,307
少数株主利益	1,148	2,027
四半期純利益	7,555	12,279

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主利益	1,148	2,027
少数株主損益調整前四半期純利益	8,704	14,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,319	3,435
為替換算調整勘定	△2,551	3,674
その他の包括利益合計	△5,871	7,110
四半期包括利益	2,832	21,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,441	18,262
少数株主に係る四半期包括利益	391	3,154

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,908	22,343
減価償却費	14,628	13,151
持分法による投資損益(△は益)	△1	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△264	125
退職給付引当金の増減額(△は減少)	431	239
賞与引当金の増減額(△は減少)	△165	△399
受取利息及び受取配当金	△869	△874
支払利息	516	423
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	△757
有価証券及び投資有価証券評価損	1,053	3,031
有形固定資産売却損益(△は益)	52	199
売上債権の増減額(△は増加)	△486	19,104
たな卸資産の増減額(△は増加)	△996	△147
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,091	△8,148
仕入債務の増減額(△は減少)	3,021	△4,691
未払費用の増減額(△は減少)	1,659	853
役員賞与の支給額	△329	△317
その他	△57	1,067
小計	29,010	45,200
利息及び配当金の受取額	869	874
利息の支払額	△516	△423
損害賠償金の支払額	△690	△604
法人税等の支払額	△10,033	△9,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,640	35,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24,915	△44,957
定期預金の払戻による収入	27,271	32,039
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,375	△12
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,636	1,403
有形固定資産の取得による支出	△16,022	△19,591
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	35	△10
貸付けによる支出	△16	△11
貸付金の回収による収入	64	48
その他	△144	166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,466	△30,925

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,075	△1,393
長期借入れによる収入	583	1,342
長期借入金の返済による支出	△1,370	△798
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△2,772	△3,084
少数株主への配当金の支払額	△1,703	△2,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,338	△6,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	△677	376
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,841	△1,285
現金及び現金同等物の期首残高	22,902	23,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,061	21,932

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	174,211	27,695	63,636	22,643	10,528	298,714	—	298,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,148	6	1,708	2,514	9,655	88,034	(88,034)	—
計	248,360	27,702	65,345	25,157	20,183	386,749	(88,034)	298,714
セグメント利益又は損失(△)	14,261	△429	4,594	1,810	△1,268	18,969	(1,217)	17,751

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△1,217百万円には、セグメント間取引消去1,406百万円及び配賦不能営業費用△2,624百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関わる費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	189,427	44,136	68,231	29,828	8,345	339,970	—	339,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84,271	6	1,112	3,262	9,051	97,705	(97,705)	—
計	273,699	44,143	69,344	33,090	17,397	437,675	(97,705)	339,970
セグメント利益又は損失(△)	18,287	780	4,274	2,961	△868	25,435	(458)	24,977

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△458百万円には、セグメント間取引消去2,533百万円及び配賦不能営業費用△2,992百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関わる費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

- (1) 北米 …米国
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド
- (3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ